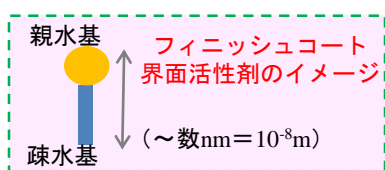


# フィニッシュコート

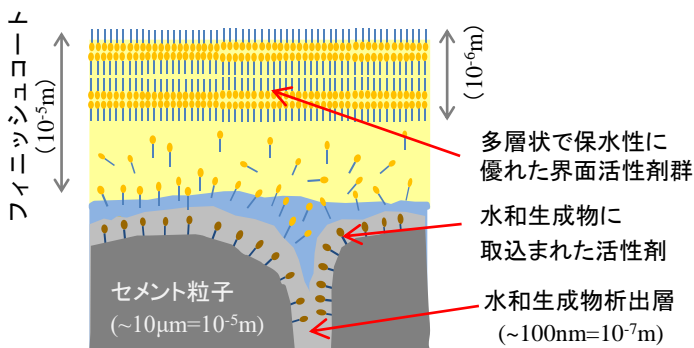
## フィニッシュコートとは

「フィニッシュコート」の主成分は、石鹼に近い分子量の小さいアニオン性界面活性剤です。コンクリートの表面仕上げ作業の効率が向上し、打込み直後から硬化初期にかけて水分の蒸発を低減してプラスチック収縮ひび割れを抑制しますが、コンクリートの付着性を低下させるような「膜」は残りません。

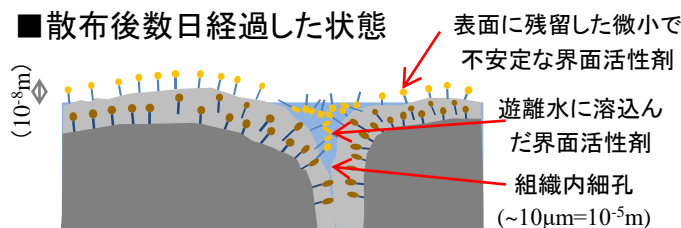
- ◆**養生機能**: 気温が高い、湿度が低い、風が強い、直射日光を受ける等の気象条件に対して、表面からの水分逸散が少なくなり、**ひび割れ抵抗性が向上**します。
- ◆**仕上機能**: コテの滑りが良くなり、**表面仕上げの作業時間が短縮**できます。特に、ブリーディングの少ない高流動・高強度コンクリートの仕上げ効率が著しく向上します。



### ■ 散布後10時間程度経過した状態



### ■ 散布後数日経過した状態



## 使用方法

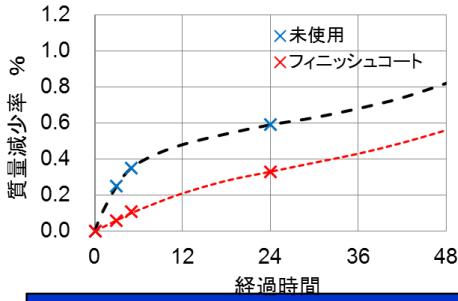
- 10倍希釈(フィニッシュコート:水=1:9)を標準とします。
- 標準使用量は希釈液で、各散布150～250ml/m<sup>2</sup>です。



# フィニッシュコートの評価

## 養生効果

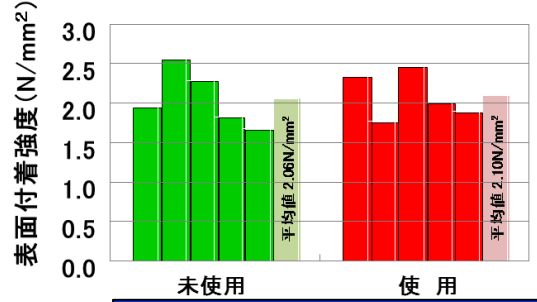
プラスチック収縮ひび割れを抑制するためには、凝結が開始するまで(3~5時間)水分蒸発を制御することが望まれます。フィニッシュコートを使用することで、水分の逸散を1/3~1/4と大幅に低減することが出来ます。



コンクリート表面からの水分逸散量試験

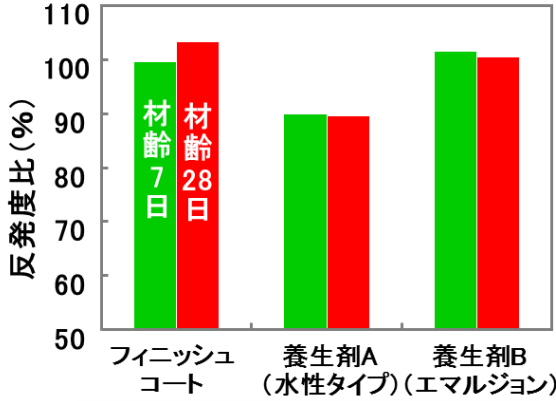
## 表面付着強度

フィニッシュコートを使用したコンクリートの表面付着強度は平均2N/mm<sup>2</sup>以上と、未使用のコンクリートと同等であることを確認しました。仕上げを行う部位でも付着性能は低下しません。



建研式付着強度試験

## コンクリートの表面硬度



シュミットハンマーによる表面硬度試験

コンクリートの表面硬度は、未使用のものと同程度以上となることを確認しております。

材齢	反発度 (N/mm <sup>2</sup> )			
	無処理	フィニッシュコート	養生剤A	養生剤B
7日	23.9 (100)	23.8 (100)	21.6 (90)	24.3 (102)
28日	22.4 (100)	23.1 (103)	20.1 (90)	22.5 (100)

※使用コンクリート W/C=50% スランプ=12cm

※ ( )内はFC無処理を100とした反発度比を示す。

## 主な適用事例

メガ シティータワーズ

難波タワー

パークシティ 豊洲

湘南鎌倉病院

日本コンクリート技術株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国4-38-1 TSEビル5階

TEL 03-5669-6651 FAX 03-3632-2970